

令和元年度 第2回市立公民館運営審議会 会議録

- ・日 時 令和2年2月20日（木）午前9時30分～午前11時30分
- ・場 所 市民交流プラザ3-2・3-3会議室
- ・参加者 福知山市立公民館運営審議会委員15名
福知山市教育委員会教育長
事務局：中央公民館長、各地域公民館長 中央公民館次長
- ・傍聴者 0名

○開会

挨拶 福知山市教育委員会教育長

○議事

- 1 令和元年度市立公民館の事業等について
 - ・今年度各講座受講者に各館共通項目を設けたアンケートを実施した。
全体の結果としては、従来より感じてきたことであるが、客観的数値として把握できたことは成果であった。次年度以降も今回のアンケートで回答・分析が難しかったと感じられた項目は修正して参加者アンケートを継続し、今後の活動に活かしていきたい。（別添資料P2. 3）
 - ・各館長より令和元年度公民館活動について説明。（別添資料P4～70）承認を得る。
- 2 委員の公募について
 - ・第1回の審議会事務局一任いただいた公民館運営審議会委員公募の要領を提案。（P71）承認を得る。
- 3 その他
生涯学習課長より
第18期 福知山市社会教育委員会議提言「社会教育活動の現状課題とあり方の検討 ～公民館を事例として～」について説明

質疑等

（委員）校区内の公民館の活動は連携事業で一定理解していたが、各館精力的な取組みをされていることが改めて解った。学校としても公民館より連携を強化し、児童生徒の参加を促すのみならず、教職員も一市民として参加していけるよう呼びかけたい。

(委員) 学校教育と連携して子どもたちの参加を促す工夫を沢山してもらっていると感じた。パソコン教室で学校を会場としたり、講師として生徒が参画する取組みはとても良いと思う。

公民館講座には男性の参加が少ないとのアンケート分析があったが、民間のパソコン教室はシニア層の男性が多いので広報の仕方でも集客できることもあるのではないかと考える。

学校の統廃合も進む中、閉校活用のみならず、校舎の利用、地域で子どもを守る活動を今後とも考えて欲しい。

(委員) 各館公民館活動の基本は押さえられながらも地域の特色のある活動をされていると感じた。地域運営協議会内でもいろいろ難しい課題はあるが、高齢化率が上昇し、男性参加も少ない中で、医師会と連携した健康教室なども企画があればと思う。

子どもたちの喫煙などの非行問題についても地域で防止策ができないか、学校や公民館で協議できる場を作っていけたらと考える。

(公民館) 貴重な御意見感謝する。学校、地域、家庭の連携は学校教育でも生涯学習でも大切なことであるので、心の教育実践活動、地域未来塾など館も教育委員会組織を挙げて取り組んでいる。今後とも審議会の皆様の御意見を頂戴しながらより効果的な館運営ができるよう努めたい。

(委員) 何人か65歳で御退職される館長さんがあると聞いたが、一律65歳定年はもったいなく感じる。兼職も不可とも聞き、優秀な人材確保が困難になるのではないかと。

(公民館) 館長、主事は市の嘱託職員であり、定年がある。市職員の定年については順次延長も予定され、地域のNPO等との兼職も一部認められてはきたが、本日の意見を人事担当部署にも伝えたい。

(委員) 社会教育委員会議の提言は公民館の皆さんは是非読んでいただきたい。

個人的に複数の地域公民館講座に参加し、アンケートも複数回回答した。他にも複数の講座に参加されている方はいらっしやう。講座はどれも楽しく、参加できてありがたかったが、一部の人のみ対象とならないよう、広報にも趣向を凝らしてほしい。

(公民館) リピーターもありがたいが、講座をきっかけに公民館活動に多くの方に参加いただきたいと願っている。講座に「初心者のための」等加えたり、複数回参加者の方は指導的立場に回ってもらったり、講座は初回者を優先し、講座修了者による同好会を組織して公民館での学びを継続してもらったりしている。

講座に参加いただいた方には概ね満足してもらっているが、公民館講座のことを知らない人も残念ながらまだ多いとも感じている。審議会の皆様にも御協力いただき、より広くPRする手法を考えていきたい。